

令和7年度 神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第2回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第2回学校運営協議会		
開催日時	令和7年10月28日（火） 9時30分～11時40分		
開催場所	横浜ひなたやま支援学校 会議室		
出席者	学校運営協議会委員6名 学校事務局7名 （5名欠席）		
問合せ先	横浜ひなたやま支援学校 副校長 岩田 みゆき 電話 045-300-5611		
掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議・会議経過			
1 開会			
2 学校運営協議会			
(1) 会長挨拶			
校内見学楽しみ。大阪・関西万博に関して話題提供。大屋根リングを設計した方は、伊達市にある児童心理治療施設（旧名・情緒障害児短期治療施設）を設計した方。どんなコンセプトが見学した。子供たちが隠れられる空間を作る、体育館にクライミング設備を作るなど工夫がたくさんある。管理上隠れて見えないのはどうかと話し合ったが、建物一つにしてもコンセプトや、情熱をもって作ったものは新しい世界が開ける。			
(2) 副会長挨拶			
生徒作品紹介、現3年生の作品が入選した。カレンダーに掲載された。「夜の食事会」造形美術部門りそなグループ賞をいただいた。生徒一人ひとりが持っている才能を伸ばせる学校でありたい。			
(3) 新委員紹介			
(4) 校内見学（1年生の様子を中心に見学）			
<u>委員</u>			
3年生の実習生が会社に来ているが、1年生の様子を見る機会がなかったので、よかった。3年生がいかに就職に近づいているのかが分かった。1年生の成長が楽しみ。ユニットは生徒の希望で決めるのか？			
<u>学部L</u>			
1年次に体験をし、目標等から決めるが、1年間の所属となり、3種類のユニットを経験する。総合的に判断し、ユニットを決めていく。			
<u>委員</u>			
社会貢献活動として、昨年度の活動の、イチョウの葉を拾っている写真を掲示してあげるとよいのでは。			
(5) 高等部2年生徒発表			
<ul style="list-style-type: none"> ・コースターづくり、手帳解体をがんばった。 ・CD解体やポストティング、掃除、刺繍をした。 ・サーキュレーター清掃で、細かいほこりとりをがんばった。 ・教えあい学びあいを大切に活動した。 ・清掃作業、軽作業、リーダーがメモを取って班員に伝えた。 ・給食配膳、コミュニケーションをとりながら進めた。 ・カフェ作業、手作り看板、装飾の工夫。コースターや台ふきは、他の会社から提供。卒業生から接客のコツを教えてもらった。モバイルオーダーを利用。 			

<学校評価部会>（司会 会長）

○令和7年度 学校評価中間評価について

副校長より 学校評価システムについて、4年間の学校教育計画のうち2年目。

【視点1】

○教科会について、教科横断的な学習内容表の整理をしている。今後、年間指導計画に落とし込んでいく。

○ICT活用について

- ・1年生向けの研修で、クロームブックの活用に向けて、マナーやルール使い方の指導を行った。作品を見あってコメントをするなど、生徒の興味関心を引き出している。
- ・教員向け研修は、アプリの使い方やスキルアップの研修として、年に数回計画している。教え合いあいながら行っている。振り返りを踏まえて、研修を計画している。

【視点2】

○アセスメント研修として、太田のステージについての研修を行った。地域の教員が参加するなど、センター的機能としての役割も果たしている。12月に自立活動の学習会を予定している。

○命の安全教育を推進

- ・交通安全教室では、自転車の乗り方を中心とした内容。
- ・心と体の授業では、ライフステージに関する学習。赤ちゃんの頃を想像しながら体験。
- ・携帯電話教室では、実際に合った事例をあげ考えながらの教室、リアルな話。
- ・非行防止教室、夏休み前に実施。瀬谷警察のスクールサポーターさんが講師。
- ・模擬選挙を体験。投票権の無い1,2年生も実施。

○シェイクアウト訓練

- ・生徒たちの身を守る行動が、身についてきている。

○避難訓練

- ・情報伝達の方法など毎回反省点が出ている。家庭で防災について話すきっかけとなっている。事後学習の充実が課題となっている。

【視点3】

○進路指導内容一覧

- ・学習内容表を年間指導計画に反映している。

【視点4】

○ガパオ祭への参画

- ・事業所を招いて事前学習を行った。ピーマンの栽培納品、瀬谷駅でパン販売をし、完売した。事後学習を予定している。

○ひなた山地域夏祭り

- ・クッキー販売し、完売。

○避難訓練への地域の方の参加

- ・評価者として参加してもらった。評価表の見直しをした。

○夏季公開講座

- ・自治会の方がたくさん参加していただいて盛況だった。
- ・地域の地形について考える良い機会となった。

○教育相談

- ・校内向けに、掲示板にリンクを貼って、常にみられるようにしている。
- ・校外向けは、学校だよりをホームページに掲載している。

【視点 5】

○人権研修

- ・「いじめ問題について」川崎市の元教員の方が講師。
- ・「性の多様性」慎重な言葉選び、性差別について考える機会となった。

○救急法研修

- ・心肺蘇生法は、生徒の命を守るための研修。すべての職員が体験した。

○健康診断の結果を把握

- ・衛生委員会に力を入れている。職員会議でも、「ちょこっとリラックス」コーナーを設けている。

○よこひな改革プロジェクト

- ・カリキュラムマネジメントを進めている。学習内容、会議設定の見直しなど次年度に向けた動き。

○職員の自己研鑽研修の報告ファイルの紹介

- ・申し込み方法が変更された。他県大学の研修に参加した教員もいる。
- ・教員としての資質を磨く意識をもつ。

<切れ目ない支援部会>

○作業班の報告～よこひな日記より～ 学部 L

- ・フードサービスユニット 地域向けパン販売 外部向けパン販売（地域作業所での販売）
- ・ハウスサービスユニット パン作りで使用する白衣の洗濯をしている。
- ・グリーンサービスユニット 近隣のお宅での除草作業のお礼をもらった。
- ・オフィスサービスユニット 瀬谷さくら小学校の児童見学。

○ホームページアンケート 総務 GL

- ・見たことない方も一定数いる。見ている方は満足という感想。
- ・家庭で学校のことを話すきっかけとなっている。
- ・給食メニューの見える化が好評。

【グループ協議】

A 教育課程

- ・自立活動は、特別支援学校の骨組みになる部分。
- ・自立活動を通してどうアプローチしていくかが大事。
- ・教科の中に組み込まれることが多く、ぼやけてしまうことがある。
- ・自立活動を活かしていくためには、どの教科でも自立活動の視点から分析していくことも有効。
- ・一人ひとり課題を洗い出していくことが大切。
- ・教員も学びながら生徒の課題を見極められるように取り組んでいく必要がある。

B 防災

- ・11月28日(金)避難訓練体験に地域防災拠点の方7名が協力してくれる。
- ・夏季公開講座について、勉強になったという声多数あり。地域に密着した内容が良かった。
- ・第一自治会に声をかけてくれれば、避難訓練を一緒にやれる。高齢の方がとても多い中での地域防災拠点のある学校なので、避難所での役割を考える機会にできるとよい。
- ・特別支援学校の開校当初の生徒の様子と、現在の在籍者の様子が違ってきている。

C 進路

- ・不登校の生徒はどのくらいいるのか？
➡学年によるが、4～5名いる学年もある。
- ・進路の様子はどうなっているのか？
➡数は答えられない。実態が変化してきている。
- ・働くイメージがわからない。見学してほしいとお知らせは来るが、2年生の今は難しい。
➡すぐに社会人になるのではなく2年くらい～カレッジなどで、自分の未来探しをすることもできる。

【質疑応答】

委員 カリキュラムマネジメントの動きは、働き方改革に連動した動きなのか？

副校長 文部科学省より見直しをするようにという通知は来ているが、授業数がオーバーしているから見直すのではなく、生徒の実態等から見直しをし、来年度に向けて保護者に説明できるよう準備をしている。

< 閉会 >

校長

小グループでの意見交換。社会情勢の変容、生徒の状況も変化している。今後の本校のあり方について、次の10年20年を考えていく。自立活動については、次の学習指導要領でも焦点が当たっている。研修会を実施するなどし、次につなげていきたい。3回目はまとめの意見をいただきたい。

< 事務連絡 >

教員募集のチラシ紹介。

3回目は、令和8年2月24日（火）開催予定。